

H21年度全イ研会員校 2級建築士への対応について

地区	番号	学校名	特色ある内容	取り組み	内容
東北・北海道地区	1	青森県立青森工業 青森県立青森工業(定時制)		×	
	2	青森県立弘前工業 青森県立弘前工業(定時制)		○	指定科目の確認申請について、決定するまでに2度程度「建築技術教育普及センター」の助言があり、それに従い、確認申請やシラバスの訂正をした。差程むずかしくなく行えた。
	3	岩手県立水沢工業		×	
	4	秋田県立能代工業		×	
	5	秋田公立美術工芸短期大学附属		×	
	6	山形新庄神室産業		×	
	7	宮城県工業	建築の科目を選択して選ぶと、2級建築士受験資格が卒業後3年の実務経験で受験可能となる。	○	建築士を受験希望する生徒については、3年次に選択科目として「建築計画」と「建築構造設計」履修を義務づけている。認定されている学校から申請文書入手し、参考にして申請する方法が宜しいかと思われます。※本校では実務経験4年から3年に短縮されました。
関東	8	栃木県立宇都宮工業		×	
	9	千葉県立市川工業	3年生はコースに分かれて実習が行われる。 [ファニチャーコース、デザインコース、CAD・情報コース、理数コース]	×	
	10	東京都立工芸 東京都立工芸(定時制)		×	
	11	山梨県立峡南		×	
	12	長野県臼田			
	13	長野県木曾青峰		×	
	14	富山県立高岡工芸		×	
	15	静岡県立科学技術			
	16	名古屋市立工芸	インテリア総合:超高齢者社会に入り、子供から高齢者にわたる世帯を対象に福祉住環境の基礎知識とインテリア商品の販売、接客などの学習もしている。	×	

H21年度全イ研会員校 2級建築士への対応について

東・中部地区	17	岐阜県立高山工業	<ul style="list-style-type: none"> ・産業現場実習(3年次、5社に各1名ずつ) ・出前授業(中学校「技術」に関わる内容で実施) 	○	<p>2年次から建築類型とインテリア類型に分かれていくが、受験資格を得る(実務経験をできるだけ短縮できる)ために、合同で受ける授業を増やしている(建築構造、建築法規)。建築類型については、施工分野の教科が建築施工しかないため、選択教科としないで全員が受講できるように配慮している。</p> <p>「建築士試験指定科目の確認申請書」の提出により、開講している教科が建築に関する科目に該当するのかを審査してもらう。そのためにはそれぞれの開講科目のシラバスの中に建築に関する内容が入っているかどうか問題となる。それに加えてそれぞれの分野に該当する科目の単位が規定以上必要になる。詳しいことは、財団法人 建築技術教育普及センター試験部 指定科目確認審査班 東京都中央区京橋2-14-1 TEL03-3552-2138, FAX03-3552-2135へ事前に問い合わせれば、やさしく教えてもらえる。</p>
		三重県立上野工業		×	
	18	伊賀白鳳	1年生の前期に産業技術基礎として、全校(280人)が7科13コース(14パート)をすべて実技体験し、希望するコースを決定。後期から各コースで専門を学ぶ。工芸デザイン科は41名の人数でインテリアコース(20名)・デザインコース(21名)で、1年生後期では、木工とデザイン・製図を工業基礎で共通して学び、2年生よりそれぞれのコースに分かれる。	×	
近畿中国四国地区	19	大阪市立工芸		×	
		堺市立工業		×	従前通り。
	20	堺市立堺	前期・後期制に移行。1年次は建築とインテリアの両方の内容を学習。2年次からコース制。3年次はコースに関係ない選択教科もある。	△	第1期生は無条件で認められるが、2期生からは選択科目で普通教科ではなく、建築系の教科を選択しなければ認められない。生徒の選択の仕方に対応。※ポイントは「法規」。
	21	香川県立高松工芸	工芸基礎、工芸絵画は学校設定科目。 工業基礎:1年次にはローテーションで金属工芸、漆芸、インテリアの基礎的内容を学習。 工芸絵画:鉛筆デッサン等の内容。		
		香川県立高松工芸(定時制)			
	22	福岡市立博多工業		○	<p>建築一般構造はインテリア装備(1単位)で対応。 建築材料はインテリアエレメント生産(1単位)、インテリア装備(1単位)で対応。 建築生産はインテリアエレメント生産で対応。 建築法規はインテリア装備(1単位)で対応 3年インテリア装備の2単位のうち1単位を法規にあてる。(シラバスの小変更)</p>
	23	長崎県立長崎工業	H21年度入学生から、学校設定科目「住環境デザイン」を設け、福祉住環境コーディネーター3級と色彩能力検定3級・2級の内容を学習し、2年生の11月に色彩3級、3年生7月に福祉住環境3級、11月に色彩検定2級を全員受験させている。	○	<p>特別に2級としてではなく、装備、計画等にでてくる内容を学習している。建築系企業へ就職する生徒は、毎年1~2名で、受験が近づくと講習等を受講し受験している。 (財)建築技術教育普及センターと連絡をとり、カリキュラムを送り、教科・単位をどのように変更して記入したら良いか指導を受け申請した。</p>

H21年度全イ研会員校 2級建築士への対応について

九州地区	24	熊本県立熊本工業		○	受験資格を得るために、選択制を導入した。2・3年で普通教科か専門のいずれかを選択させる。専門を選択した場合は、2級建築士の卒業後の受験資格(実務経験)が得られる。 2年選択(2単位) 建築構造 or 数A 3年選択(2単位) 建築構造設計 or 数B 3年選択(2単位) 建築法規 or 英Ⅱ
	25	熊本県立八代工業	2年次・3年次は実習を木工・建築・デザイン・クラフトの4コースから選択させている。	×	
	26	熊本県立水俣工業	1年次はくり募集の関係もあり、全員が建築に関する基礎的な内容を学習する。標準テストの「建築構造」を全員が受験する。 工業基礎と実習に関してもコース制に限定せず、全員同じ内容を学習する。例えばインテリアコースの生徒も測量技術を習得する。	×	
	27	大分県立鶴崎工業		×	
	28	宮崎県立宮崎工業		×	
	29	宮崎県立都城工業			
	30	鹿児島県立隼人工業		×	
	31	鹿児島県立川内商工		○	教育課程を変更し、希望生徒は、3年次に「建築法規」2単位「インテリア装備」2単位をとることによって、実務経験4年に対応させた。
	32	鹿児島県立鹿児島工業		×	
	33	沖縄県立浦添工業	3年生の木工実習(6単位)において、病院や福祉団体の協力を得て、福祉用具や子供遊具を製作し、寄贈、活用してもらう取り組みを行っており、インテリア科で学習した成果を外部にアピールし、進路の拡大を目的としている。	×	